

経営発達支援事業報告書（令和6年度）

実施期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日

目 標 地域経済の現状を踏まえ、まずは基幹産業である鯉節製造業を重点に小規模事業者へのニーズに対応した細やかで継続的な伴走型支援の実施体制の確立と中長期的には食資源を活用した交流人口増加への取り組み協力支援と地域外の需要に対する販路開拓等の支援を行い地域経済活性化に寄与し、地域経済の継続的な発展のために創業支援に関する協力体制の確立と支援体制の強化を図る。

経営発達支援事業 外部評価委員会 委員

No.	所 属	企業名	氏 名
1.	中小企業診断士	シオン経営コンサルティング	新屋敷辰美 氏
2.	金融機関	(株)鹿児島銀行枕崎支店 支店長	渡邊章寛 氏
3.	行 政	枕崎市企画調整課長	日渡 輝明 氏
4.	〃	枕崎市水産商工課長	鮫島 寿文 氏

①地域の経済動向調査に関すること。

◆事業内容

地域経済動向調査においては、公表されている各種データを活用することとし、国が提供しているビッグデータの活用や下記の調査などを活用し地域の課題に即した調査結果をまとめ地域独自の消費者ニーズや需要動向などの実態把握を行って個者の課題や地域の課題を総合的に把握し、鯉節製造業を取り巻く環境においても、これらの関連する水産業者の経済動向を詳しく調査し、分析することにより、鯉節製造業者の経営力強化につながる支援策の基盤となるべく調査を行う。

◎参考とする調査データ

- ①「RESAS」（地域経済分析システム）の活用
- ②人口動態や消費者購買動向（鹿児島県が発行する統計情報を活用）
- ③全国及び九州管内主要指数（公共機関が発行する統計情報を活用）
- ④管内水揚高調査（枕崎市水産商工課が発表する資料を活用）
- ⑤産業別各種動向調査（鹿児島県が発行する統計情報を活用）

《事業実施状況》

需要動向調査や課題解決に向けた地域独自の問題解決に向けた課題の抽出を適正に実施し出来なかったが、次回の計画策定においては事業者の経営力強化につながる支援策の

基盤となるべく調査と課題抽出を行い、効率よく支援に繋げていく。

【目標と実績】

支援内容	R6 目標	R6 実績
アンケート回数	6	0
調査結果公表数	3	0

◆評価

評価	A	B	C	D
(○印をお付けください)	よくできている	できている	できていない	全くできていない
			1	2

コメント

- ・同業者同士における課題や問題を聞き取り、またそのアンケート内容の検討についての難しさやマンパワー不足はあるものの、他の業種に広げての経済動向調査を行う工夫を期待します。
- ・地域企業へのアンケート調査等を検討してほしい。

②経営状況の分析に関すること。

◆事業内容

本事業において抽出した鯉節製造業者についての今後の経営力強化を図るために必要な経営課題の抽出を的確に行い、財務指標分析やSWOT分析などを行い、具体的には経営指数をまとめた表を作成して事業者と共有して課題抽出を行い、課題解決に向けた事業計画策定へと導き、経済産業省の「ローカルベンチマーク」や中小機構の「経営計画つくるくん」などのソフトを活用し細やかな経営分析を行って、本事業で得た地域動向調査の基礎データを活用し、経営指導を行うとともに必要に応じ専門家派遣やセミナーを開催して、事業者の経営分析力向上を図る。

《事業実施状況》

経営課題の抽出のための経営分析が十分に実施できなかったが、専門家派遣を実施し積極的に事業者の経営分析力向上を図った。

会員事業者へは経営支援の決算指導を通じて経営状況の把握と今後の経営課題について検討を行った。

【目標と実績】

支援内容	R6 目標	R6 実績
セミナー開催数	3	0
経営分析数	15	7

(注) 経営分析数内訳 製造業3件 小売業2件 サービス業2件

◆評価

評価	A	B	C	D
(○印をお付けください)	よくできている	できている	できていない	全くできていない

ください)		2	1	
-------	--	---	---	--

コメント

- ・特定業種の経営状況の分析に関するセミナー実施となると、開催側も受講者側も遠慮が生じることで集客等が難しいと思われ、他のテーマでは会議所予算で実施したとのことなので、汎用性の高いもので検討されたらどうでしょうか。
- ・セミナーは出来ていなかったが経営分析の実績はあった。
- ・鯉節製造業のデータ調査をさらに追及してほしい

③事業計画策定に関すること。

◆事業内容

専門的な事業計画策定に関しては専門家派遣事業の活用や技術的開発や金融政策が必要な計画については各関係機関や金融機関と連携して計画策定を行い、実現可能な計画策定を行い、創業後間もない事業者においても中長期的な計画策定の支援を行うとともに経営安定の為に基礎的な経営支援を継続的に行って地域経済の活性化を図る。

《事業実施状況》

事業者の事業計画策定支援については計画策定支援が十分に実施できなかったが、会員事業者の支援については巡回指導を実施し、各種支援金や補助金申請時に計画策定の支援を実施しており、次回の計画策定においても積極的に計画策定支援を実施していく。

【目標と実績】

支援内容	R6 目標	R6 実績
事業計画策定件数	15	10
専門家派遣	5	3

(注) 事業計画策定内訳 補助金申請 6 件 金融申請 2 件 その他 2 件

〃 専門家派遣 (エキスパートバンク) 製造業 2 件 小売業 1 件

◆評価

評価	A	B	C	D
(○印をお付けください)	よくできている	できている	できていない	全くできていない
		3		

コメント

- ・伴走型支援の補助金なしで、連合会のエキスパートバンクなどを活用し、実績作りに努力されていると思います。
- ・計画策定を専門家派遣で実績があった。
- ・人不足のため DX 推進による生産性向上も計画内容にしてほしい。

④事業計画策定後の実施支援に関すること

◆事業内容

計画策定事業者については個別巡回指導を強化し計画遂行状況の確認や計画変更がある場合などの備え定期的な訪問を行って業況確認を行うとともに、域内事業者向けの経営革

新セミナーや個別相談会等を実施し、事業計画策定と実行策について目標達成に向けたスキルアップ指導を行い、鯉節製造業者の経営安定に向けた支援を継続して行う。

経営革新計画策定支援についても継続的に行い、域内事業者の計画認定に向けて支援を行い、事業者の経営安定の一助となる経営革新に向けた取り組みを支援するとともに、フォローアップに関しても事業計画の実行段階確認や計画の修正など四半期ごとに巡回指導して行い、伴走型の支援を強化し、課題解決に向けた支援メニューの充実も図る。

合わせて経営革新セミナーや常設の窓口等で支援も継続して行い、経営改善計画を実行する事業者の支援を行う。

《事業実施状況》

事業者の事業計画策定後のフォローアップについても十分な支援が実施できなかったが、会員事業者へは巡回指導を実施し、経営課題の解決に向けた経営支援を継続的に実施しており、次の計画策定後の支援については各種支援メニューを効果的に活用し積極的に支援していく。

【目標と実績】

支援内容	R6 目標	R6 実績
セミナー開催	3	0
対象事業者数	15	12
フォローアップ件数	120	36

(注) 対象事業者内訳 製造業 6 件 小売業 3 件 サービス業 3 件

〃 フォローアップ件数 製造業 14 回 小売業 12 回 サービス業 10 回

◆評価

評価	A	B	C	D
(○印をお付けください)	よくできている	できている	できていない	全くできていない
		2	1	

コメント

- ・巡回指導主体の支援となっており、件数が伸び悩んでいます。伴走型支援の補助金がないことと、マンパワー不足が影響していると思われます。
- ・対象事業者は目標近くの実績となっている。
- ・フォローアップ件数は増やしてほしい。

⑤需要動向調査に関すること

◆事業内容

当所においては、事業計画策定支援を行った事業所のうち特産品である鯉節製造業について需要動向調査を行い、新商品開発や商談会や展示会への参加支援を行って経営改善をおこなっていくものであり、地域需要動向調査で得たデータを活用して小規模事業者業種毎の課題に対しても、的確な情報提供を行うとともに、必要に応じ専門家派遣などを活用して支援を行い、新たな取り組みとしては、本事業で取り組んだ地区ごとの人口分布、年齢構成、産業構造などの一般的なデータに加え、公共機関や民間企業が作成している全国の購買動

向調査や需要動向に関する最新のデータを収集、分析、提供することで経営方針の作成や事業計画策定、新商品開発などの判断材料として提供できるように支援体制の強化を図る。

《事業実施状況》

新商品開発に関する情報提供についても十分な支援が実施できなかったが、会議所報やメールマガジン等で各種情報提供は実施しており、次回の計画策定に向けては新事業の実施支援や需要動向に関する情報提供を積極的に実施していく。

【目標と実績】

支援内容	R6 目標	R6 実績
調査対象事業者	5	0
アンケート実施	3	0
専門家派遣	5	3

(注) 専門家派遣 (エキスパートバンク) 製造業 2 件 小売業 1 件

◆評価

評価	A	B	C	D
(○印をお付けください)	よくできている	できている	できていない	全くできていない
			2	1

コメント

- ・特定の同業者間では新商品開発に関する自由闊達な意見交換ができにくかったことや支援する側のマンパワー不足が影響していると思われます。
- ・2 項目は実績がなかったが、地域振興のためには重要な項目であり、他団体との連携を含め強化してほしい。

⑥新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

◆事業内容

本事業を実行して事業計画策定支援を実行していく中で、発掘された新しい特産品や新商品及び優れた技術や商品については販路拡大や新たな需要開拓について商工会議所がもつ全国ネットワークの活用や各関係機関が行っているビジネスマッチング事業や商談会、展示会等への参加や I T を活用したショッピングモール販売や通信販売など新しいチャネルへの展開などについて積極的に支援を行い、具体的には新しい商品開発や販路開拓について関係機関と連携し積極的に商談会、展示会等への参加を促すとともに、小規模事業者の細かいニーズにあった支援策を実施し、地域の優れた技術や地場産品を全国に向けて積極的にアピールする。

《事業実施状況》

新たな需要開拓についても十分な支援が実施できなかったが、鹿児島県商工会議所連合会が主催するアンテナショップへの出展支援を実施しており、販路拡大に係る支援を行った。次回の計画策定においても各種展示会への参加支援や販路開拓に関する情報提供も積極的に実施して、競争力強化を図る。

【目標と実績】

支援内容	R6 目標	R6 実績
商談会・展示会への参加数	5	8
商談成立件数	3	0

(注) アンテナショップ出店件数 8 件

◆評価

評価	A	B	C	D
(○印をお付けください)	よくできている	できている	できていない	全くできていない
	1	2		

コメント

- ・商談会・展示会への参加者数は目標を大きく上回る実績をあげられています。前向きな支援については事業者の協力が得られやすいことが分かります。
- ・参加数は目標達成でき、商談成立に向けて、金融機関等との連携も検討したい。
- ・関係する団体のアンテナショップへ出展され、概ね実施できている。

2. 地域経済の活性化に資する取り組み

①地域経済の活性化に資する取り組みに関すること

◆事業内容

枕崎地域の場合、伝統産業である鰹節製造業、水産業、焼酎製造業は域外市場を対象として地域経済を牽引する基幹産業であり、これらの産業の市場競争力を高め、地域ブランド価値の向上を目指すとともに、地域内での産業間の連携を図り、共通する「食」をコンセプトとして地域ブランドを域外市場に浸透させることが市場競争力強化に繋がる。

今後の地域経済の活性化策としては特産品の鰹節製品を核とする食資源を活用した交流人口の増加への取り組みが重要であり、地域外需要に対する販路開拓等支援を行って、「ひと」「モノ」「経済」の交流が活性化することによる地域経済が活性化に繋がり、観光振興事業についても枕崎市が行う各事業を積極的に支援し、枕崎市通り会連合会や枕崎市観光協会と連携して経営発達支援事業も推進し、地域経済の活性化に取り組む。

また、地域活性化のため共通商品券発行事業も継続して行い、域内の小規模事業者の販売促進と地域経済の活性化に寄与する。

《事業実施状況》

基幹産業の鰹節業者と市内の飲食店への支援として枕崎水産加工業協同組合の協力を頂き、毎月 24 日は『節の日』に鰹節の配布を行って特産品の PR と観光振興を実施している。

枕崎市通り会連合会とまくらざき朝市出店者協議会の協力のもと、新しい通り会グルメ『勝男武士カレー』の PR も実施して地域活性化に取り組んだ。

共通商品券の発行事業も継続実施しており、域内商工業者の販売促進と地域活性化に取り組んでおり、枕崎市と連携して各種事業にも共通商品券を採用していただいております、継続的に実施していく。

◆評価

評価	A	B	C	D
(○印をお付けください)	よくできている	できている	できていない	全くできていない
	1	2		

コメント

・様々な取り組みを行っており、販売エリア拡大に向けた DX 化も検討してほしい。

②他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること。

◆事業内容

本県においては中小企業支援機関を対象とする「中小企業支援機関連携推進会議」と「鹿児島県中小企業経営革新支援協議会」が設置されており、支援ノウハウ、支援の現状、支援スキルの向上、支援事例等について情報交換を行った。

経営革新等認定支援機関の定例会議等においても創業及び経営革新への取り組み事例、施策の活用方法、支援ノウハウ、支援の状況、専門家の活用状況について情報交換を行う。

① 中小企業支援機関連携推進会議 年 2 回出席

② 鹿児島県中小企業経営革新支援協議会 年 2 回出席

◆評価

評価	A	B	C	D
(○印をお付けください)	よくできている	できている	できていない	全くできていない
		3		

コメント

・事業実施状況のとおり出来ている。

③経営指導員等の資質向上に関すること

◆事業内容

1. 日本商工会議所や九州商工会議所連合会が主催する研修会への参加に加え、九州経済産業局が主催する研修会に参加することにより、支援能力の向上を図る。
2. 鹿児島県商工会議所連合会が主催する「経営指導員研修会」「経営支援員研修会」に参加し、支援の状況の情報収集を図り、支援ノウハウや支援スキルを修得する。
3. 中小企業大学校を活用し、時代に即した経営手法や専門知識を習得する。
4. 所内においても研修会を開催し、指導員、支援員間の情報共有を行い、支援力向上に努める。

◆評価

評価	A	B	C	D
----	---	---	---	---

(○印をお付けください)	よくできている	できている	できていない	全くできていない
		3		

コメント

・事業実施状況のとおり出来ている。

④事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

◆外部評価委員会

令和5年6月29日設置

第3回評価委員会：令和7年4月16日（水）14：00～

◆評価

評価	A	B	C	D
(○印をお付けください)	よくできている	できている	できていない	全くできていない
		3		

コメント

・事業実施状況のとおり出来ている。

【経営発達支援事業総括】

事業期間：令和2年4月～令和7年3月（5年計画）

事業総括

令和2年4月から開始した本事業については当初想定していなかったコロナ禍による事業者の支援が影響し、実施できなかった事業も多く、計画していた本来の事業者への支援が十分実施できなかったが、今後は事業者が抱える新たな経営課題の解決に向けた支援事業の拡充と域内事業者の経営改善と経営の安定に向けた支援を行うとともに経営革新に取り組む事業者への支援も継続的に実施し、小規模事業者の経営状況の分析と需要を見据えた事業計画の策定や事業実施に係る伴走型の指導を行って需要の開拓にも寄与できる事業を積極的に実施し、新事業展開や高付加価値化の支援など経営の発達に資する支援を行っていく。

【事業総括コメント】

・事業総括でも記載のある通り、想定外の事象（コロナ禍による地域内事業所への多大な影響）によって、緊急事態対応・セイフティネット優先の支援に大きく舵が切られ、本来の経営発達支援計画が実施できなかった前半期だったと思います。現在は比較的落ち着きを取り戻しているとはいえ、スタートダッシュが切れなかったことが後々まで影響を及ぼしていると思います。

・事業実施状況のご説明のなかで、支援に必要な資金面、マンパワーなどが今後の事業主

体側の課題であるといわれる一方で、支援される事業所には関係ないこと等の意見がなされました。やはり先立つものがないと、支援に限界が生じてくるのも事実です。但し、伴走型補助金を活用したがために、これまで以上に支援に係るマンパワーが必要となる二律背反も生じる可能性があります。是非、それらを十分にご検討いただき、地域の実情にあった経営発達支援計画をご立案いただきたいと存じます。

- ・今後も人口減少が予想され、生産性の向上に向けた DX 推進と各団体との連携が重要であり、今後も継続的に取り組んでほしい。

- ・コロナ禍で経営発達支援事業の実施がスムーズに進まなかったところもあるが、事業者への必要最小限の経営支援は実施されていたと思われる。商工会議所が実施する既存事業との連携も含めて、需要開拓、新規の商流を生むような取組や高付加価値化の支援等、同事業の充実を図られたい。